

経営比較分析表（令和5年度決算）

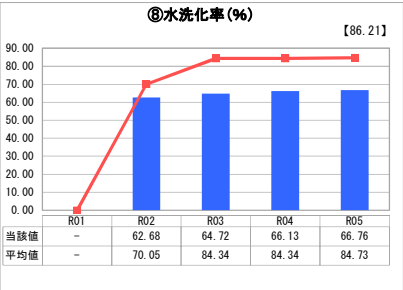
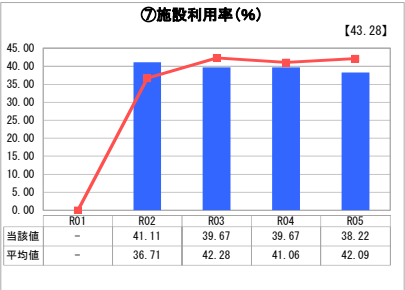
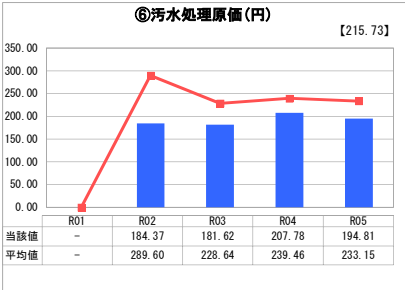
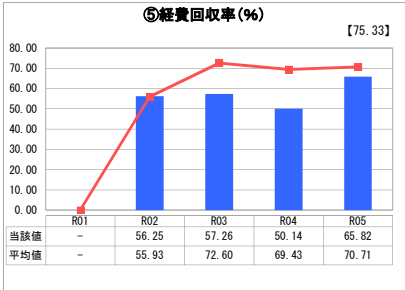
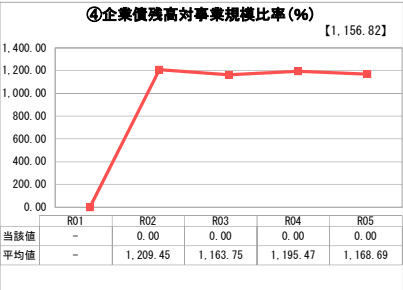
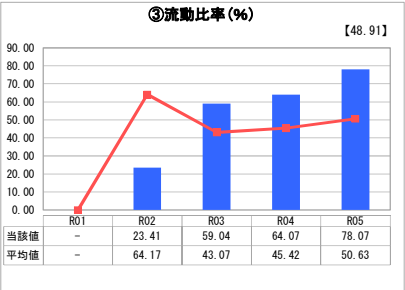
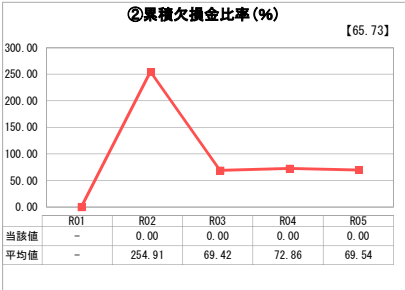
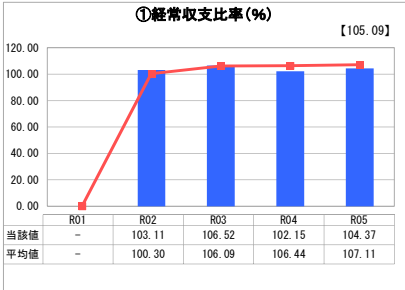
宮城県 小林木

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.03	3.36	89.31	2,882

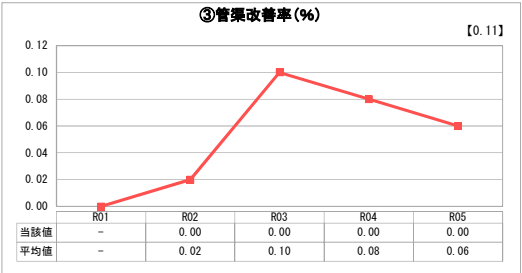
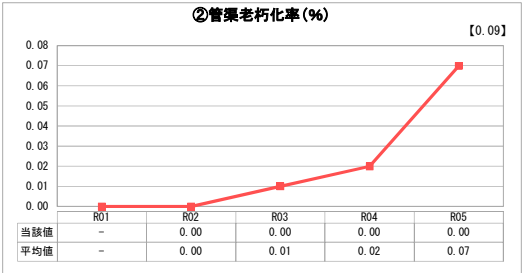
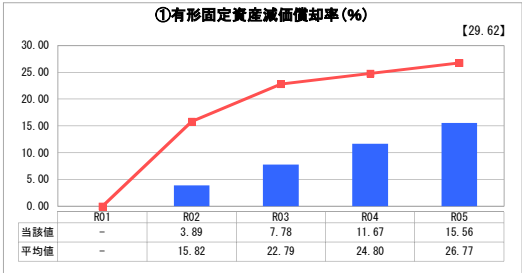
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
42,944	562.95	76.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,420	0.70	2,028.57

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回り、比較的健全な状況を維持していると考えられます。
② 流動比率は、類似団体、全国平均をとともに上回っていますが、保有現金は少なく、資金繰りが厳しい状況となっています。
③ 企業債残高対事業規模比率については、一般会計からの繰入金で賄っている状況ですので、今後、更なる経営改善を図ることが求められます。
④ 経費回収率は、料金改定を行ったことによりやや改善しましたが、類似団体、全国平均値より低く抑えられていますが、経費回収率は100%を下回っており、さらに費用の効率性を高めるよう、経費削減等の取り組みを実施する必要があります。
⑤ 施設利用率は、類似団体の平均値より低い状況であり、処理能力の40%以下となっているため、効率的な利用が必要です。
⑥ 水洗化率は、類似団体、全国平均値と比較してもまだまだ低い状況にあるため、更なる水洗化普及に直結する対策が必要です。

2. 老朽化の状況について

平成22年度で事業概成となり、当初供用開始から10年以上経過していますが、現在のところ改善の必要な箇所はない状況です。今後は計画的な修繕・更新に取り組む必要があります。

全体総括

現在の建設事業は、将来における当市を取り巻く様々な要因や費用対効果を推計した結果、全体計画の見直しを図りましたが、人口減少や高齢者世帯の増加等により、下水道接続件数が増加しにくい状況にあります。
下水道事業の安定的な運営を図るため令和2年4月1日に地方公営企業法の全部適用を行い、さらに詳しい経営状況等の把握が可能となりました。また、令和3年度に策定した経営戦略をもとに、さらなる料金収入の確保や経費節減等の経営改善を行っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。